

四万十市（西土佐地域）で米ナス農家 になりませんか？

相談→研修→就農までの流れ

就農相談

こうち
アグリスクール

西土佐農業公社
実践研修
(1年～2年)

就農

米ナス栽培への第一歩！



～西土佐農業公社での研修～

四万十市西土佐地域には自然に囲まれた研修施設の西土佐農業公社があります。ここで経験豊かな指導者のもと、米ナスの他、トマトやメロンなどの栽培技術を1年～2年かけてしっかりと習得することができます。

栽培方法は二通り！



～露地栽培か雨よけ栽培～

栽培方法は二通り。比較的手軽に取り組みやすい露地栽培か、簡易ハウスを利用した雨よけ栽培。JA米ナス部会や地元の篤農家、JA営農指導員、県の普及指導員などがしっかりとサポートいたします。困った時はいつでもご相談ください。

最盛期を迎えた米ナス。色は艶々で、焼いたり、揚げたり、炒めたり、色々な料理でおいしく頂けます！



毎月1回、各農家を巡回指導します。現地を見て直接農家の方々にアドバイスをしています！

まずはご相談ください！

お問合せ先：四万十市担い手育成総合支援協議会

【事務局】：高知県四万十市西土佐総合支所産業建設課

TEL：0880-52-1111 E-mail：n-sangyou@city.shimato.lg.jp

住所：高知県四万十市西土佐江川崎2445番地2

先輩就農者の就農ストーリー

米ナスを栽培するたくましい父親の後ろ姿をずっと見て育ってきて、自分もいつの間にか農業への興味を持つようになりました。

2年間の農業公社での研修を終え、平成24年から米ナス農家になりました。米ナス栽培は近くに米ナス農家の指導者も多いため、しっかりと栽培技術を習得できます。また経営も安定しており、自分が頑張れば頑張るほど作物に結果として現れるので、とてもやりがいがあります。これからは、地元で雇用を増やしていきたいような経営体を目指して頑張っていきたいと思えます。

農業を始めるなら、まずやる気だと思えます。自分の信念をもってしっかりと目標へ向けて努力を惜しまない姿勢が大切だと思えます。



地元で新規就農5年目の篠田さん

求める人材

- ①18歳以上45歳未満
- ②研修開始までに市内に住所を有すること
- ③農業公社で研修後1年以内に独立自営就農または、雇用就農すること
- ④認定新規就農者になること
- ⑤農業経営開始までの自己資金として300万円程度が必要（目安）
- ⑥募集人員は若干名

支援体制

- ①研修中は国・県の支援制度を活用し、年間180万円を支給
- ②就農後は国の青年就農給付金として、最長5年間、年額150万円を支給

四万十市ってこんなところ

- 人口：34,713人（西土佐地域2,965人）
- 四万十市ホームページに空き家情報有り
- 中学生まで医療費助成有り
- 四万十市（西土佐地域）のPRポイント
豊富な山林資源、清流四万十川を有する美しい街です。歴史は深く、京都より下向した土佐一条氏が、京都を模して街を作ったことから「土佐の小京都」と呼ばれています。その中で西土佐地域は、四万十川の中流域に位置し、青い空を映してゆったりと流れる清流、緑の山々、沈下橋など全ての景色が人の心を捉えて離しません。皆さまと四万十市でお会いできる日を楽しみにしております。

米ナス農家の一年・栽培モデル

※就農5年後のモデルであり、所得を保証するものではありません。

露地栽培

経営面積20a
10a当たり収量8,000kg
家族労働力2名
年間総労働時間4,000h

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			準備	定植	→			収穫			

■売上高380万円

■所得250万円

雨よけ栽培

経営面積15a
10a当たり収量15,000kg
家族労働力2名
年間総労働時間4,000h

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		準備	定植	→			収穫				

■売上高540万円

■所得320万円